

演習問題A

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25 20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

50 45 40 35 30

(注) システマティック：組織的、体系的。スピノザ：オランダの哲学者（一六三二～一六七七）。メタ：超、高次。デフォルマシオン：変形、歪曲、デフォルメ。

問一——線(a)・(b)を漢字に改めよ。

(a) 〔 〕 (b) 〔 〕

問二——線(ア)・(ウ)の読みをひらがなで答えよ。

(ア) 〔 〕 (イ) 〔 〕
(ウ) 〔 〕

問三 次の一文は、本文中に入るべきものである。本文中の【ア】～【オ】から最も適当な箇所を選び、記号で答えよ。
言葉について語るといふことにも、おなじようなことが言える。考え

るといふことについて考えるということとおなじく。〔 〕

問四 本文中から抜き出した次のア～オには、その内容からいっても、論旨の展開からいっても、余分な文が一つだけ含まれている。それはどれか。最も適当なものを選び、記号で答えよ。

ア 言及されることによって、つまり別のかたちで意識され、語りだされることよってである。

イ 観念と実在との関係を問う「哲学」の場所はどこにあるのか、という問題がさらに別にある。

ウ 胃がよくはたらいっているときは胃の存在は意識されず、むしろその機能が不全になってはじめてその存在が意識されるように、哲学もまたそれが機能不全にオチイったときにみずからの媒体について思考をはじめめる。

エ 時間を流れとしてとらえる意識が時間そのもののなかにあつたように、わたしの自己意識の構造を問題とするわたし自身もそういう自己意識のなかにあるわけである。

オ それはしかしなにかある原型のデフォルマシオンではない。

〔 〕

問五 A 〔 〕 D 〔 〕に入る最も適当な語を、次のア～カから一つずつ選び、

記号で答えよ。ただし、同じ語を二度用いてはならない。

ア つまり イ だから ウ そもそも エ むしろ
オ もつとも カ けつきよく A 〔 〕 B 〔 〕

C 〔 〕 D 〔 〕

問六 X 〔 〕に入る最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

ア 変形ということの意味あいを深く考えることなのである

イ 変形に変形をくわえることなのである

ウ 変形されたものを規定し安定させることなのである

エ 変形しやすい時間構造をつくることなのである

問七 本文の論旨に合致しないものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

ア 問われているわたしがただの「対象」となってしまう。もはやわたしについて語ることではなく、「哲学」は成立しなくなってしまう。

イ 時間の流れを正しく理解するには、流れのなかで不安定な自分を、考

えるといふ行為が可能ないように一瞬間でも変形させることが必要である。

ウ わたしを問うことは、絶えずわたし自身にくわえる変形の過程を見つ

めることから出発されるべきである。

エ 時間というものもわたしという存在も、初めからたしかなものとして

あるのではなく、流れ、変形する過程のなかで、初めてその姿を現すと

言つてよい。

オ わたしという存在を見つめる一人一人の自己意識こそが、自分の内部

の真のわたしの定立を生み出すのであり、それによってこそ現実

は正しく把握されるはずである。

〔 〕

研究

哲学：古代ギリシャに端を発する哲学には、物事を根本原理まで遡って考
えるという性質があり、歴史上様々な場面で重要な概念や思想を生み出
してきた。フランスの哲学者・ドゥルーズは哲学を「概念の創造」と定
義づけている。合理化が進む近代社会において、哲学は役に立たないも
のとみなされ、脳科学や量子力学など主に自然科学の立場から批判がな
されたが、複雑な問題の多い現代では哲学の価値が見直されつつある。
一時期は相対主義に陥りがちだったポストモダン思想が隆盛を極めた
が、現在では思弁的実在論や新実在論といった新しい哲学が生まれている。

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25 20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

55 50 45 40 35 30

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(吉岡洋「思想」の現在形)による)

(注) テオドール・W・アドルノ…ドイツの哲学者(一九〇三～一九六九)。ドグマ…
 教義。デカルト的な心身二元論…心(精神)と身体(物)は別々であるという
 考え。カントの理性主義…人間の真の自由と人間らしさは、人間が理性に従っ
 て考え、行動するところにあるという考え。

問一 — 線①「近代的…あり方」とあるが、筆者はこれをどのようにとら

えているか。最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

ア 宗教的ドグマや迷信を断罪する一方で、デカルト的な心身二元論やカ
 ントの理性主義をも否定し、常に思想的な進歩を続けている。

イ 迷妄の打破という「啓蒙」のレトリックを用いて「過去」を断罪する

一方で、同じレトリックで自身が否定されることをも念頭に置いている。

ウ デカルト的な心身二元論やカントの理性主義を否定する一方で、過去

の人々の宗教的ドグマや迷信の中に潜在している別な可能性を展開する。

エ デカルト的な心身二元論やカントの理性主義を克服する一方で、新し

い思想を展開することに困難を感じている。 「

問二 — 線②「啓蒙」のレトリック」とあるが、それによって意図される表現効

果の例として、最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

ア 「こんな良い商品を知らないあなたは損をしている」と言うコマーシ

ヤリズムのように、人々の不明を断じて新しい商品に関する知識を与え

ることにより、人々の購買欲を誘う。

イ 「世界はこんな大変なことになっているのにあなたは何をしているの

か」と詰め寄る新興宗教や慈善運動の勧誘のように、世の中の問題点を

誇張して伝えることにより、人々の宗教への不信感をかき立てる。

ウ 社会悪の告発と称するジャーナリズムの「真相暴露」のように、社会の

暗部を明らかにする報道で、人々のジャーナリズムへの嫌悪感をおおる。

エ 「あなたは知らないが今のトレンドはこうなのだ」と教えてくれるマ

スコミの言説のように、世の中の流行に関する人々の情報の欠落を埋め

ることにより、人々の流行に対する反抗心を促す。 「

問三 冒頭のアドルノの断章は聖書の一節をどのように変形したと筆者はとら

えているか。最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

ア オリジナルの聖書の一節では、「塵」は「兄弟」のものであるのに、

アドルノの断章では、それが「きみ」のものとされており、第三者への

批判を戒め自分自身への反省を促すものとなっている。

イ オリジナルの聖書の一節では、「兄弟の眼にある塵」は「自分の眼に

ある梁」に比べて認識上の問題は小さいとされるが、アドルノの断章で

は、「塵」こそはよりよく見ることを可能にしている条件とされている。

ウ オリジナルの聖書の一節では、「兄弟の眼にある塵」は「自分の眼に

ある梁」に比べて認識上の問題は小さいとされるが、アドルノの断章で

は、「塵」であつても私たちの認識を大きく左右する条件とされている。

エ オリジナルの聖書の一節では、「塵」は「兄弟」のものであるのに、

アドルノの断章では、それが「きみ」のものとされており、読者を直接

啓蒙するものとなっている。 「

問四 — 線③「アドルノによる…戻る」とあるが、それによってどのよう

な読みが可能になると筆者はとらえているか。最も適当なものを、次のア～

エから一つ選び、記号で答えよ。

ア 「兄弟の眼にある塵」を見ている自分自身の眼に「梁」があることに

気づくべきだ。則ち、他人をむやみに判断してはいけない。

イ 「兄弟の眼にある塵」を見ている自分自身の眼に「梁」があることに気

づくべきだ。則ち、他人への判断には判断する者の主観が含まれる。

ウ 「兄弟の眼にある塵」を見ている自分自身の眼に「梁」があることに

気づくべきだ。則ち、他人への判断には判断する者の視点が必要だ。

エ 「兄弟の眼にある塵」を見ている自分自身の眼に「梁」があることに

気づくべきだ。則ち、他人の欠点はよく見えるものだ。 「

問五 — 線④「判断はその…反省的である」とあるが、それはどのようこ

とか、五十字以内で説明せよ。
